

テーマ：北方領土（実践校）

根室管内 別海町立中春別小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・北方領土に対する関心やふるさとに対する愛着、誇りを高めるために、総合的な学習の時間において、北方領土について学ぶ単元を位置付けるとともに、元島民による話を聞いたり、「北方館」を見学したりするなど、地域の人材や施設を活用しながら、北方領土の地理的特徴や産業、暮らし、歴史について探究的な学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」に掲載されている資料等を活用した調べ学習や見学、調査などの体験学習を通じて、各学年の発達の段階に応じ、第3学年「自然」、第4学年「開拓・暮らし」、第5学年「産業」、第6学年「歴史」をテーマに、探究課題を設定しました。



【野付半島から北方領土見学】

(2) 情報の収集

設定した課題の解決に向け、教科書や副読本、根室教育研究所が作成した資料、北方領土問題対策協会の学習教材集やインターネットなどの情報に加え、元島民の話を聞いたり、「北方館」等を見学したりするなど、設定した課題の解決に向けて情報を収集しました。



【元島民による講話】

(3) 整理・分析

北方領土の地理的特徴や産業、暮らし、歴史について、調べた情報を、比較、分類、関連付けを行うため、児童が設定した課題に応じて、思考ツールを選択し、情報を整理・分析しました。



【意見文の交流】

(4) まとめ・表現

調べて分かったことや考えたことを「新聞」や「意見文」などにまとめ、授業参観日等で報告や発表する活動を通して、保護者や地域住民に向けて発信しました。また、まとめたことを相互に交流することで、北方領土への理解を深めるとともに、北方領土問題に対する関心を高めることができました。

②児童の感想等

- ・北方領土には様々な資源があり、特に、昆布や鮭等の海産物が豊富であることが分かりました。
- ・北方領土は日本の領土なので返して欲しいです。また、平和的な解決に向けてこれからも考えたいです。
- ・北方領土周辺の漁業についての調べ学習を通して、安全操業を続けるための努力が大切だと思いました。また、安全に漁ができるために、今後も北方領土問題の平和的な解決に向けて行動します。

■取組の成果（○）と課題（●）

- アンケートでは、「北方領土や領土問題に対する関心が高まった」の項目において、肯定的な回答が73%から100%に増加するなど、学習へ高い関心をもつとともに、北海道への愛着や誇りを高めることができました。
- 児童一人一人が主体性をもって取り組んだり、多面的・多角的に考えたりすることができるようになるために、各教科等と関連付け、総合的な学習の時間の系統性を示す等、学習過程を改善するとともに、教育課程を見直し、改善する必要があります。